

茅葺屋根とふれあう月間×北区制50周年 連携企画

北区には約670棟の茅葺民家が現存しています。北区での里山暮らしのシンボルとも言える「茅葺」を未来へ残していくため、毎年秋に「茅葺屋根とふれあう月間」と題し、所有者や地域団体のご協力のもと、茅葺を活用したイベントを開催しています。

こちらでは、2023年の「茅葺屋根とふれあう月間」で開催されたイベントを2つ抜粋してご紹介します。

北区農村歌舞伎上演会 11月5日(日)

北区には、茅葺民家の他にも地域の貴重な文化財である「農村歌舞伎舞台」が点在しています。これは全国的にも珍しいこと。

農村歌舞伎舞台では、戦前までは住民による農村歌舞伎の上演や地芝居が盛んでしたが、戦後は演じられる機会が減少していました。

そこで、北区では現存する舞台の保存・継承、農村歌舞伎の演じ手の育成などを目的とした取り組みが行われています。

その取り組みのひとつ、「北区農村歌舞伎上演会」が国営明石海峡公園神戸地区あいな里山公園の農村歌舞伎舞台で開催されました。2023年で24回目となる上演会。2000年から2014年までは、北区役所主催で開催してきました。

その後、2015年からは上演団体が主催となり、毎年秋に上演されています。

農村舞台がよく映える晴天のもと、およそ600人が来場し大盛況でした。



「^{にぶ}六甲丹生かぶき」、「神戸すずらん歌舞伎」の2団体が日頃の練習の成果を発表しました。



2023年は50周年を記念して、下記の3つのイベントが同日開催されました。例年とは一味違った上演会。伝統文化を楽しみつつ未来への想いを馳せる、そんな1日となりました。

上演会の司会は、神戸親和大学の学生2名(きたっこ娘)が務めました。



①奈落探検ツアー

農村舞台の下(奈落)を探検するツアー。実際に廻り舞台を動かす体験もできました。



②活かす、活きる江戸フェスタ
テーマは「子どももおとなも楽しめるサステナブルな1日」。地産地消にこだわった飲食店やワークショップブースが並び大盛況でした。



③茅葺と農村歌舞伎上演会を楽しむバスツアー

神戸観光局の「神戸のとびら」との初めての連携企画。山田町にある文化財を巡り、上演会を観覧するバスツアー。歴史や文化の解説付きの有意義なツアーとなりました。



茅葺き体験とふるさとコンサート ～ふるさとのはなしをしよう～ 11月3日(金)

道場町連合自治会、八多ふれあいのまちづくり協議会、NPO法人神戸茅葺きネットワークの三者共催で開催された茅葺イベント。2023年は道場町文化祭と同時開催されました!

「ふるさとカルテット」の皆さまによる演奏、茅葺職人さんによるおはなしのほか、子どもも参加できるかやぶき体験も開催されました。会場は立ち見の観客が出るほどのにぎわい。秋晴れの清々しい晴天の中、茅葺やふるさとについて楽しく学びを深めることができる会でした。



管楽演奏やおはなしなど。当日は立ち見が出るほどのにぎわい。